ふりがな 氏　　名	はなくま　あつし 花隈　淳	職　　名	専任講師
取得学位	修士（ MBA ）		
学　　歴	NUCB　BUSINESS　SCHOOL　マネジメント研究科 MBA（Master of Business Administrator）修士課程修了		
受賞歴等	第 45 回日本小児呼吸器疾患学会　優秀演題賞（吉岡賞）　受賞 日本海員掖済会　会長賞　受賞		
所属学会	日本臨床工学会、愛知県臨床工学技士会、日本呼吸療法医学会、日本集中治療医学会、日本集中治療医学会東海北陸地方会、日本手術医学会、日本体外循環技術医学会、日本人工臓器学会、日本小児呼吸器学会、日本医療マネジメント学会、医療の質・安全学会		

教　育　活　動

（主な担当科目）

・2022 年：体外循環装置学、血液浄化療法装置学、医用機器学概論、
体外循環装置学演習、血液浄化療法装置学演習、医用治療機器学演習、
基礎ゼミナールⅡ、臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ
看護学概論、体外循環装置学実習【特別】、医用機器安全管理学実習【特別】
医用治療機器学実習【特別】、呼吸療法装置学実習【特別】、生体計測装置学実習【特別】
血液浄化療法装置学実習【特別】

・2021 年：体外循環装置学、血液浄化療法装置学、医用機器学概論、
体外循環装置学演習、血液浄化療法装置学演習、医用治療機器学演習、
基礎ゼミナールⅡ、臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ

（その他）

・2020 年：学校法人　セムイ学園　東海医療科学専門学校　臨床工学科　生体機能代行技術学Ⅰ「呼吸療法装置」非常勤講師

・2019 年：学校法人　セムイ学園　東海医療科学専門学校　臨床工学科　生体機能代行技術学Ⅰ「呼吸療法装置」非常勤講師

・2019 年：学校法人　中部大学　生命健康科学部臨床工学科　臨床准教授

・2018 年：学校法人　中部大学　生命健康科学部臨床工学科　臨床准教授

・2013 年：体外循環技術認定士　認定番号 第 130-25076 号

・2013 年：MDIC(Medical Device Information Communicator)　認定番号 MDIC 第 050234 号

・2010 年：日本 DMAT 隊員（Japan Disaster Medical Assistance Team）第 4440　厚生労働省医政局長

・2010 年：3 学会合同呼吸療法認定士　認定番号 第 101734 号

・2003 年：臨床工学技士国家資格免許　登録番号 第 16401 号

・2002 年：第 2 種 ME 技術実力検定試験合格　登録番号 2020875

研　究　活　動

（論文等）

・Clinical　Engineer　名古屋掖済会病院　臨床工学部　2020(査読付)　単著　NUCB　BUSINESS　SCHOOL　マネジメント研究科　（専門職学位：経営学修士）学位論文　2021/3

・乳幼児の急性細気管支炎における HFNC 導入前後 5 年間の比較(査読付)　共著　愛知県臨床工学技士会会誌 vol.11,2020-3：頁 30-32　2020/3

・電磁波の影響が原因と考えられた輸液ポンプ滴下異常の検証(査読付)　共著　愛知県臨床工学技士会会誌 vol.10,2019-3：頁 19-21　2019/3

・PCI における iMAP の使用報告(査読付)　愛知県臨床工学技士会会誌 vol.7,2016-3：頁 18-20　2016/3

・当院での難治性腹水に対する腹水濾過再静注法の現状(査読付)　共著　愛知県臨床工学技士会会誌 vol.7,2016-3：頁 11-13　2016/3

・院内における医療機器情報コミュニケータニュース（MDIC　news）発行の有用性(査読付)　共著　医療機器学 Vol. 84, No. 6：頁 652-656　2014/12

・麻酔用呼吸回路内に多量な結露の発生を認めた経験とその後の安全対策(査読付)　共著　第 35 回日本手術医学会総会特集,vol.35,No.2：頁 99-102　2014/3

・手術室における医療機器の安全使用に向けた標準化への取り組み一臨床工学技士の視点から一(査読付)　共著　医療機器学、vol. 83,　No. 3：頁 339-341　2013/6

・データ解析に基づく NPPV（noninvasive positive pressure ventilation）適応の有用性―小児領域における可能性―(査読付)　共著　日本小児呼吸器学会雑誌 Vol.24 №2 2013：頁 151-157　2013/4

・DMAT（Japan Disaster Medical Assistance Team）における臨床工学技士の必要性―東日本大震災における医療支援に参加して一(査読付)　共著　日本臨床工学会会誌、　2012　No.46：頁 55-59　2012/10

・モニタリング インピーダンス心拍出量計（エスクロン）の使用経験(査読付)　共著　愛知県臨床工学技士会会誌 2012-3:頁 24-26　2012/3

・SpO_2モニタリング用耳朶プローブ(査読付)　共著　医療機器学,vol.81,No.6：頁 469-470　2011/12

・人工呼吸器の保守管理について一電子カルテを活用した医療機器中央管理システムー(査読付)　共著　医療機器学,vol.80,No.5：頁 548-550　2010/10

・当院における耳朶 SpO_2 センサの使用状況と臨床応用の可能性について(査読付)　共著　医療機器学,vol.80,No.5：頁 499-501　2010/10

・医療機器中央管理システムの試作運用(査読付)　共著　愛知県臨床工学技士会会誌　No.1,2010-3：頁 39 - 40　2010/3

・PURITAN BENNETT™840 Ventilator 搭載 Proportional Assist™Ventilation P(PAV+)の使用経験(査読付)　共著　第 19 回日本臨床工学会論文集,No.37：頁 265-267　2009/10

・経皮的動脈血酸素飽和度 Sp02 測定の新たなるアプローチ(査読付)　共著　医療機器学,vol.79,No.　8：頁 638-646 2009/8

・小児の経皮的動脈血酸素飽和度（SpO_2）測定における耳朶センサの有用性(査読付)　共著　医療機器学,vol.79,No.　7：頁 584-586　2009/7

・シリンジポンプの接続方法が流量誤差に与える影響についての実験的検討(査読付)　共著　ICU と CCU,vol.33,No.5：頁 421-426　2009/5

・ポータブル表在超音波診断装置 iLook25 の使用経験(査読付)　共著　第 17 回日本臨床工学会論文集,No.31:頁 111-113 2007/12

・用手人工呼吸法についての考察―バッグバルブマスク（アンビューバッグ）による換気補助について(査読付)　共著　第 17 回日本臨床工学会論文集,No.31：頁 95-97　2007/12

・前額部センサによる SpO_2 計測の臨床的意義(査読付)　共著　愛知県臨床工学技士会　会誌 No.16,2007-2：頁 10-16 2007/2

・前額部センサによる SpO_2 計測の臨床的意義(査読付)　共著　第16回日本臨床工学会論文集,No.28:頁161-162　2006/11

（研究発表等）

（筆頭演者としての研究発表）

・「生命維持管理装置を業とする臨床工学技士の現状の課題と今後の展望」第 22 回製薬・医療学生ネットワーク（Zoom 開催）　単著　2021/8

・「災害時に安全な呼吸を維持するために臨床工学技士が考える対策とは？」パネルディスカッション、ワークショップにおいて「南海トラフを前に考える対策」のパートを報告(査読付)　第 41 回日本呼吸療法医学会学術集会　共著　2019/8

・人工心肺装置の準備及び操作における業務フロー図の役割―臨床工学技士の立場から―(査読付)　第 13 回医療の質・安全学会　共著　2018/11

・当院における呼吸療法認定士会の活動報告(査読付)　第 40 回日本呼吸療法医学会学術集会　共著　2018/8

・日当直体制の有用性(査読付)　第 27 回日本臨床工学会　共著　2017/5

・手術室における臨床工学技士業務の現状と展望(査読付)　愛知県臨床工学技士会　2016 年 ME セミナー（シンポジウム）　共著　2016/12

・臨床工学技士による術中不具合の撲滅を目指した対応策の検討―夜間休日業務の見直し―(査読付)　第 38 回日本手術医学会　共著　2016/11

・心肺停止症例に対する ECPR の有効性(査読付)　第 16 回中部臨床工学技士会連絡協議会学術大会　共著　2015/11

・Fisher&Paykel 社製 AIRVO２の流量精度評価(査読付)　第 23 回日本集中治療医学会東海北陸地方会　共著　2015/6

・集中治療室および救命救急室領域における血液浄化療法の推移とその背景(査読付)　第 41 回日本集中治療医学会学術集会　共著　2014/2

・当院における心筋保護法の変遷と過去 3 年間の成績(査読付)　第 37 回日本体外循環技術医学会東海地方会　共著　2014/1

・NPPV のデータ解析が有用であった閉塞性睡眠時無呼吸症候群の 1 例(査読付)　第 23 回日本臨床工学会　共著　2013/5

・緊急上行置換手術における末梢吻合法に関連した超低体温・循環停止法の検討(査読付)　第 38 回日本体外循環技術医学会　共著　2012/11

・データ解析に基づく NPPV(noninvasive positive ventilation)適応の有用性―小児領域における可能性―(査読付)　第 45 回日本小児呼吸器疾患学会　共著　2012/9

・手術室における医療機器の安全性に向けた標準化への取り組み―臨床工学技士の視点から―(査読付)　第 87 回日本医療機器学会　共著　2012/6

・東日本大震災における医療支援を経験してーDisaster Medical Assistance Team:DMAT における臨床工学技士の意義

―(査読付)　第 22 回日本臨床工学会　共著　2012/5

・人工呼吸器モード、PEEP、リクルートメントマニューバ等の効果―豚肺から学ぶ―(査読付)　第 39 回日本集中治療医学会学術集会　共著　2012/2

・DMAT（Disaster　Medical Assistance　Team）における臨床工学技士の必要性(査読付)　第 21 回日本臨床工学会　共著　2011/5

・気管切開患者用人工鼻の形状と加湿性能及び圧力損失の関係についての実験的考察(査読付)　第 38 回日本集中治療医学会学術集会　共著　2011/2

・バッグバルブマスク（BVM）換気におけるマノメータの必要性(査読付)　第 13 回日本医療マネジメント学会　共著　2011/6

・Fisher&Paykel 社製加温加湿器 MR730 と MR850 の比較検討(査読付)　第 37 回日本集中治療学会医学会　共著　2010/3

・加温加湿器 MR850 搭載オート機能の作動状況に対する実験的検討(査読付)　第 37 回日本集中治療学会医学会　共著　2010/3

・RTX 併用による呼吸補助の有用性に関する検討(査読付)　第 31 回日本呼吸療法医学会学術総会　共著　2009/7

・NPPV の設定条件が著効を示した 1 症例―BiPAP Synchrony2 の Bi-FLEX への期待―(査読付)　第 36 回日本集中治療医学会学術集会　共著　2009/2

・バッグバルブマスクによる用手人工呼吸法におけるマノメータの有用性(査読付)　第 35 回日本集中治療医学会学術集会　2008/2

・末梢血幹細胞（Peripheral Blood Stem Cell:PBSC)採取に際して臨床工学技士に求められる技術と知識(査読付)　第 9 回中部臨床工学技士会連絡協議会学術大会　共著　2008/11

・新人臨床工学技士・・・イメージと現実 ―4 年間で学んだ呼吸療法（人工呼吸器の使用後点検から RTX へ）―(査読付)　第 8 回中部臨床工学技士会連絡協議会学術大会　共著　2007/10

・用手人工呼吸法についての一考察-アンビューバックによる換気補助について(査読付)　第 17 回日本臨床工学会　共著　2007/5

・NPPV の Data Management(査読付)　愛知県臨床工学技士会定時社員総会　共著　2006/8

・BiPAP Synchrony の解析ソフト Encore Pro が有効であった症例(査読付)　第 5 回中部臨床工学技士会連絡協議会学術大会　共著　2004/11

（筆頭演者を除く、共同演者としての発表数は 2022 年 3 月末現在　164 演題）

社　会　活　動

・2021 年　動物実験委員会委員、「人を対象とする研究」に関する倫理委員会委員、一般選抜試験点検委員会委員（生物担当)、Covid-19 ワクチン接種プロジェクトメンバー

・2016 年　愛知県臨床工学技士会　理事　（学術部長）2018 年まで

・2011 年　東日本大震災発災における DMAT 隊員としての災害医療支援